平成 24 年 12 月 13 日

各　　位

会 社 名　日本アジアグループ株式会社
代表者名　代表取締役社長　　呉　文　繍
（コード番号 3751　東証マザーズ）
問合せ先　取締役経営企画本部長　　渡邉　和伸
TEL（03）-3211-8868（代表）

当社連結子会社（国際航業株式会社）によるプレスリリース
田子西エコモデルタウンプロジェクトの新たな一歩
「スマートヴィレッジプロジェクト」がスタート
～復興に向けた未来型まちづくりがいよいよ始まります～

当社の連結子会社である国際航業株式会社が、「田子西エコモデルタウンプロジェクト」の一環である「スマートヴィレッジプロジェクト」をスタートさせましたので、別紙のとおりお知らせいたします。

（別紙）
国際航業株式会社のプレスリリース資料
『田子西エコモデルタウンプロジェクトの新たな一歩　「スマートヴィレッジプロジェクト」がスタート～復興に向けた未来型まちづくりがいよいよ始まります～』

以上

－News Release－

報道各位

2012年12月13日

株式会社北洲／株式会社西洋ハウジング
積水ハウス株式会社／住友林業株式会社
株式会社土屋ホーム東北／カナダハウスグループ
株式会社ウェルズホーム／共和ホーム株式会社
東北大学
一般社団法人仙台グリーン・コミュニティ推進協議会
国際航業株式会社

田子西エコモデルタウンプロジェクトの新たな一歩
「スマートヴィレッジプロジェクト」がスタート
～復興に向けた未来型まちづくりがいよいよ始まります～

「田子西エコモデルタウンプロジェクト」は、平成２１年より、田子西土地区画整理事業の一括業務代行者である国際航業株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：中原 修）が、仙台市田子西土地区画整理組合、宮城県、仙台市、東北大学及び関係企業と協力して、エネルギー消費の抑制、安心・安全で快適に暮らせる仕組み、自然との調和を３つのコンセプトにて進めてきたプロジェクトです。震災後、新たに「災害に強い都市基盤」をコンセプトに加え、仙台市の震災復興計画の位置づけにより、国の補助事業も活用して事業実現に向けて推進しています。

このたびスタートする「スマートヴィレッジプロジェクト」は、「田子西エコモデルタウンプロジェクト」の一環であり、戸建住宅用地の一部にスマートヴィレッジ街区を設け、１６戸のスマートハウスの建築を行います。

建築にあたるのは、地元企業の株式会社北洲をはじめ、株式会社西洋ハウジング、積水ハウス株式会社、住友林業株式会社、株式会社土屋ホーム東北、カナダハウスグループのハウスメーカー７社で来春の完成を目指します。

本プロジェクトにおいては、東北大学都市・建築学専攻の小野田泰明教授、建築家の髙橋一平氏、藤野高志氏を迎え、街区デザインについて協力を頂きながら、「デザイン」「テクノロジー」「コミュニティ」の融合をコンセプトに、新たなデザイン空間の形成に挑戦します。また、建築チームの指導にあたった東北大学環境科学研究科の田路和幸教授、古川柳蔵准教授らのチームによる実験棟も計画されています。



**田子西エコモデルタウンプロジェクト（赤枠）と
スマートヴィレッジ街区（緑枠）**

街区全体でこのコンセプトを表現するため、各社統一のデザインコードを設定するほか、街区住民が自由に活用しながらコミュニティを形成できる共有地を確保したり、風の通り道を配慮した建物の配置や各戸と共有地を自由に往来できる道を配したり、防犯面も考慮して生垣等の境界を設けない見通しの良い街区とする等の空間デザインを行っていきます。

住民が実際に生活する住居等へのエネルギー供給、エネルギーマネジメントシステムの導入・運用を行うモデルとして、太陽光発電システム、燃料電池、双方向コンバータを搭載した電気自動車用充電器（または定置型蓄電池）を設置し、住宅用ホームエネルギーマネジメントシステム（以下、「ＨＥＭＳ」）によるエネルギーの効率的運用を行います。なお、これらの設備およびシステムは、国際航業株式会社が代表理事を務める一般社団法人仙台グリーン・コミュニティ推進協議会が仙台市から「仙台市スマートグリッド通信インタフェース導入事業費補助金」を受け実施いたします。

復興に向けた取り組みが進む仙台市において、田子西エコモデルタウンプロジェクトは、来春のスマートヴィレッジプロジェクトにおけるまち開きを皮切りに、「未来型まちづくり」に向けた取り組みを推進していきます。

以上

＜各社の概要について＞

■　株式会社北洲（北洲ハウジング）　　http://www.hokushu.net/

北洲ハウジングは、東北の地で創業以来５５年、雪と寒さに強い住まいづくりを理念とし、Q値１．０W／m2･K前後の高い断熱性能による快適な住宅を創り続けています。３年程前から東北大学と共同で蓄電池実験を行い、そのご縁で本プロジェクトに発足当初から参加いたしました。パッシブデザインを取り入れると同時に、外皮性能を高め、省エネ設備が最大限に活きるゼロエネルギー住宅をご提案いたします。

■　株式会社西洋ハウジング　　http://www.seiyo.co.jp/

1979年の創業以来、宮城県内で戸建住宅3400棟以上の建築実績があります。仙台圏では、「汐見台」「国見ヶ丘」の大規模開発に参画し、分譲終了後の今も現地に拠点を置き、地域密着の姿勢で「お客様の顔が見えるおつきあい」を続けています。地震に強く、省エネ性にも優れた2×4工法の住宅を、「自分で作った電気を自分で使う」スマートハウスに進化させる取組みを推進します。

■　積水ハウス株式会社　　http://www.sekisuihouse.co.jp/

積水ハウスは、累積２１１万戸の住宅を提供してきた実績を生かし、「いつもいまが快適」をテーマに、住まう方の快適性をベースに、経済性、そして環境配慮のバランスを実現する環境配慮住宅「グリーンファースト」シリーズを提供してまいりました。快適な暮らしを先進の技術で実現する当社のブランドビジョン「SLOW & SMART」の具現化を進めています。

■　住友林業株式会社　　http://sfc.jp/

太陽の光を温かさに、通り抜ける風を涼しさに。環境への負荷が少なく、自然の恵みを活かした木の家はそれ自体がまさに“スマートハウス”であると住友林業は考えます。自然の心地よさを活かす“涼温房”という発想に、自然を利用してエネルギーをつくり、蓄え、「スマート（賢く）に」使うという新しい知恵をプラスしました。環境にも家計にもやさしい新しい家づくりのご提案です。

■　株式会社土屋ホーム東北　　http://www.tsuchiya-tohoku.jp/

土屋ホーム東北では外断熱・基礎断熱による独自技術の『　BES―T（ベスト）構法　』木造注文住宅の施工による、先進のエコ性能、堅牢な耐震性能の他、安全性、健康性・施工効率性等を実現しました。いつまでも快適な高品質住宅は次世代への継承においても高い資産価値が維持されます。人と環境を見据えた住まい作りで『豊かさ溢れるスマートハウス』を創造して参ります。

■　カナダハウスグループ

カナダの木材を使用したツーバイフォー住宅を地域で活動しているビルダーで施工し、少しでも早く住宅復興と経済復興ができるように協力したいとの思いから参加しています。

株式会社ウェルズホーム　　http://www.wells-home.com/

ウェルズホームは創業以来、北方型の高断熱・高気密住宅の高い性能にプラスする形で、ストーブ１台で全室暖房を可能にする「全室暖房システム」やエアコン２台で全室冷暖房を可能にする「TETSUシステム」など、最小の器具でコストをかけず効率よく全室の冷暖房できるかをお客様と共に考えてまいりました。我々の考える「スマート」＝「賢い」住宅とは、少ないエネルギーで効率よく住まう事が出来る住宅だと考えております。これからも、ウェルズホームは高い性能の省エネで効率の良い住宅を提案していきます。

共和ホーム株式会社　　http://www.kyowahomes.com/

共和ホームは、低炭素住宅の標準化、高効率設備機器・創エネルギーの導入に取り組んで参りました。「ここちよい」住まいとは、そうした外皮性能と設備によって実現させるだけではなく、偶然に生まれる笑顔にも「ここちよさ」が含まれると考えます。通風・採光計画と一緒に考える暮らし。「住まうご家族の「ここちよい」が、街にとっての「エコ」となって、やがては自然環境が保たれる。」人と人、住まいと環境がつながる住まい、共和ホームの考える「スマートハウス」です。

■ 東北大学大学院 工学研究科 都市・建築学専攻 建築空間学 研究室（小野田 研究室）

テクノロジーとデザインの融合を掲げる東北大学工学研究科の中にあって、人間の空間の活用方法や公共施設が現代社会に与える影響についての研究を重ねながら、実際の都市や建築にその成果を実証的に展開してきた研究室。せんだいメディアテーク（設計：伊東豊雄建築設計事務緒）、東北大学百周年記念館（設計：阿部仁史、小野田泰明、三菱地所設計、阿部仁史アトリエ）など、全国的に注目されている優れた施設の計画に関わっている。

■ 一般社団法人仙台グリーン・コミュニティ推進協議会 http://www.sendai-green-community.com/

グリーン・コミュニティの実現に向け、エネルギー供給、需給コントロール等を行うことを目的に、田子西土地区画整理事業の業務代行者である国際航業株式会社が代表理事となり、ＮＴＴファシリティーズ、東日本電信電話株式会社の三社により今年９月に設立した法人です。

■ 国際航業株式会社の概要について http://www.kkc.co.jp/

創業以来、最先端計測技術を駆使して国内外の社会インフラの整備・構築に携わってきた経験と技術、そして再生可能エネルギーの導入ノウハウなどを活かし、空間情報を活用した防災・環境・資源・エネルギーの総合コンサルタント＆アセットマネジメント企業として、新しい時代が求める「安全安心な地域づくり」「低炭素社会づくり」の実現に向け、地域特性にあわせた地域づくり、まちづくりへの取り組みを進めてまいります。

【報道関係からのお問い合わせ先】
日本アジアグループ株式会社
国際航業ホールディングス株式会社
経営企画本部 コーポレート・コミュニケーション部 ： 鈴木、船橋
TEL：03-3288-5704 e-mail：press@japanasiagroup.co.jp URL：http://www.japanasiagroup.jp/